

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
188	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Association among bad breath, body mass index, and alcohol intake. 口臭と BMI とアルコール摂取との関連について	
執筆者	
Rosenberg M, Knaan T, Cohen D.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Dent Res. 2007 Oct;86(10):997-1000.	
キーワード	
口臭、BMI、アルコール、ベータ・ガラクトシダーゼ、揮発性の硫黄化合物、流行、口臭探知機 (Halimeter)	
要 旨	
<p>背景：</p> <p>口臭はよく見られる状態であり、一般集団における口臭の判定は難しい。本研究で、私たちは自己記入式質問表が、口臭のリスクに関連している要因を特定するのに役立つのではないかとという仮説を立て検証した。</p> <p>方法：</p> <p>定期的な健康診断を受けた 88 人を対象に口腔内衛生、食生活、および自身の口臭レベルについての 38 の質問を含むアンケートを実施した。口臭の判定には口臭を判断するスコア、揮発性の硫化物レベル、および唾液中のベータ・ガラクトシダーゼを用いることとした。</p> <p>結果：</p> <p>アンケート結果より、9 つの項目が口臭を判断するスコアと関連していた(<math>p &lt; 0.05</math>、対応のない t 検定)。項目としてはアルコール摂取、BMI を含むこれらの 9 つの項目において線形多重回帰分析に基づく口臭の判定スコアと口臭スコアの重相関係数は <math>R = 0.601</math> となり、口臭探知機 (Halimeter) とベータ・ガラクトシダーゼに関するスコアを導入すると、重相関係数 <math>R = 0.843</math> に上昇した。</p> <p>まとめ：</p> <p>本調査によって、アルコール摂取及び BMI が口臭を予測する要因になる可能性が示唆された。</p>	